

読書のすゝめ

その4

H 31 4 / 15

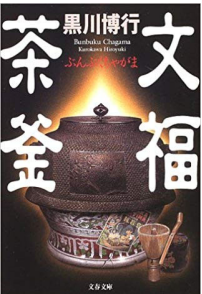
新任者紹介 ③

田口生一先生（1年2組副担任・地歴公民）



『文福茶釜』黒川博行（文藝春秋）

この作品は元高校の美術教師が作品の真贋と人間の欲に絡む隙間をリアルに表現した作品です。俗に言うニセモノ、贋物・贋作をいかにして真作として相手側に見せるかという手口が世の中に生きていく我々は非常に勉強になります。最近のオレオレ詐欺や振り込め詐欺と人の弱みや欲の心理を巧みに利用されてしまっています。そうならないように常に注意して生きていきたいと思えます。



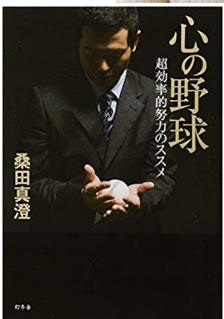
この作品は元高校の美術教師が作品の真贋と人間の欲に絡む隙間をリアルに表現した作品です。俗に言うニセモノ、贋物・贋作をいかにして真作として相手側に見せるかという手口が世の中に生きていく我々は非常に勉強になります。最近のオレオレ詐欺や振り込め詐欺と人の弱みや欲の心理を巧みに利用されてしまっています。そうならないように常に注意して生きていきたいと思えます。

吉川訓代（1年1組副担任・福祉家庭）



『心の野球―超効率的努力のススメ』桑田真澄（幻冬舎）

私は高校野球が大好きです。以前、銚田二高の硬式野球部の生徒さんからさわやかな挨拶をもらったことがあります。銚田二高の皆さんは、高校野球やプロ野球（読売巨人軍）のピッチャーで活躍した桑田真澄さんをご存じでしょうか。自伝の他、その思いが綴られています。野球の道具は大事にして掃除が必要。人生は常にイヤなこととの連続なのだから耐えしのぐことが大事。野球のことで書いてある本ではありません。自分の生き方を考えてみたいという高校生には是非読んでもらいたい一冊です。



本屋大賞発表

「そして、バトンは渡された」瀬尾まいこ（文藝春秋）



過去一年の間、新刊書の書店で働く書店員自身が自分で読んで「面白かった」、「お客様にも薦めたい」、「自分の店で売りたい」と思った本を選び投票する「本屋大賞」。一次投票には全国の493書店より書店員623人、二次投票では308書店、書店員371人も投票がありました。二次投票ではノミネート作品をすべて読んで上でベスト3を推薦理由とともに投票し、瀬尾まいこさんの作品がみごと大賞を受賞しました。

- 2位 『ひと』 小野寺史宜
- 3位 『ベルリンは晴れているか』 深緑野分
- 4位 『熱帯』 森見登美彦
- 5位 『ある男』 平野啓一郎
- 6位 『さざなみの夜』 木皿泉
- 7位 『愛なき世界』 三浦しをん
- 8位 『ひとつむぎの手』 知念実希人
- 9位 『火のない所に煙は』 芦沢央
- 10位 『フーガはユーガ』 伊坂幸太郎



瀬尾さんは独身時代中学校の教師をしていましたが、今回の作品について「生徒たちや我が子に向き合う日々は、私の人生を晴れやかに変えてくれました。血が繋がっていてもいなくても、誰かに愛情を注ぐことはできる。そして、それは愛情を注ぐ側の人生をも変えてくれる——この確信をもって、私は『そして、バトンは渡された』を書いたのです」と語っています。